

# 教育委員会事務局 令和6年度 局運営方針

## 1 主な現状と課題

コロナ禍が加速させたDXは、社会や私たちの生活に大きな変容をもたらしました。また、国際情勢の不安定化など、将来の予測が困難な時代の中で、個人と社会のウェルビーイングを実現していくためには、社会の持続的な発展に向けて、生涯にわたって学び続け、自ら考え主体性を持って行動する人材の育成が期待されます。

さらに、AIやロボットによる代替えが困難である新しいものを創り出す力や他者と協働しチームで問題解決する能力が、一層求められています。

こうした様々な社会の変化に対応していく上で、教育の果たす役割はますます大きくなっています。

学校教育においては、多様な子どもたちを誰一人取り残すことがなく、その可能性を最大限に引き出すために、デジタルの優位性を活用した個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させていくことが重要です。また、グローバル化する社会において、地球規模の諸課題を自らに関わる問題として捉え、グローバルな視点を持って、まずは地域社会の活性化のために行動できる人材の育成も不可欠です。さらに、子どもたちがコミュニティ・スクールや地域学校協働活動に関わること等を通じて、子ども自身が主役になり、主体的に社会の形成に参画できるような教育活動の実践も必要です。

生涯学習においては、人生100年時代、幾度となく発生する可能性のある危機に向き合いながら、「生涯を通して学び続けることが生きる原動力になる」という普遍的な視点を持つことが重要です。併せて、ICTを活用し、「誰もがいつでもどこからでも何度でも」学べ、学んだ成果を生かして活躍できる環境づくりや、デジタルデバイドの解消等のための取組も不可欠です。また、地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向け、地域課題の解決に向けた関係施設の一層の連携・協働に加え、地域コミュニティをつなぐことのできる人材の育成も必要です。

### (1) デジタル化による社会構造・経済状況の変化 ～12年間の学びの連続性を生かした「真の学力」の育成～

社会全体のDX、メタバースの活用等の推進に向けた環境整備が加速していく中で、今後は、教育の分野においてICTを活用することが特別なことではなく「日常化」するなど、デジタル化の更なる推進が求められています。このような新しい時代において、生きて働く知識・技能を習得し、人間ならではの感性に基づいた力や、自身の学びを人生や社会に生かそうとする意欲を養うことが不可欠です。そのため、デジタルツールを生かすことで、場所、時間、年齢を問わず、誰であっても、複雑かつ困難な社会課題に向き合い、探究的な学習を一層充実できる環境を構築することが重要です。さらに、ICTを活用したアクティブ・ラーニングを進めるとともに、個別最適な学びの実現など「ICTによる学びの改革」を進める一方、デジタル社会が広がる現代であるからこそ、リアルな体験に満ちた自然体験活動のより一層の推進も必要です。



1人1台端末の活用



館岩少年自然の家での自然体験活動

## (2) グローバル化・多様化の進展とSDGsの推進 ～グローバル社会で活躍できる豊かな人間性と健やかな体の育成～

社会、経済、文化のグローバル化が急速に進展し、日本への愛着や誇りを持ちつつ、グローバルな視点で活躍するための資質・能力の育成や、世界で活躍するイノベーターやリーダー人材を育成していくことが求められています。そのためには、多世代交流や異年齢交流等、様々な体験を通じて学びに向かう姿勢や豊かな人間性を培うことが重要です。また、地球規模での人口増加や経済規模の拡大の中で、人間活動に伴う地球環境への負荷はますます増大していることから、持続可能な社会の創り手を育成するため、SDGsの実現を目指した教育の推進も不可欠です。

加えて、不登校等で長期欠席をしている児童生徒に対して、学ぶ楽しさや喜びを実感できる機会を提供するなど、不登校等児童生徒の社会的自立に向けた支援も必要です。



「グローバル・スタディ」の推進  
～『さいたま市イングリッシュ・キャンプ』の様子～



不登校等児童生徒への  
オンラインによる学習支援

## (3) 人生100年時代における学習の重要性 ～人生100年時代を輝き続ける力の育成～

社会が大きく変化し、これまで当然と考えられてきた認識や価値観等が劇的に変化する時代にあっては、学んだことや経験を生かし、知恵を出し合い、力を合わせていく「協働」が求められます。さらに、健康寿命が伸び、人生100年時代と言われる中、より多様で豊かな生き方・暮らし方が志向されており、こうした、マルチステージの人生では、リカレント教育などにより必要な資質・能力やスキルを更新することや、ICTなどの先端技術の活用が期待されます。

そのため、生涯を通じて学べる環境と、人々が生きがいを持って社会に参画し、地域コミュニティの維持・活性化へ貢献できる仕組みを整えていくことが重要です。さらに、生涯学習関連施設で実施する講座を一層充実していくとともに、知識の習得のみならず仲間と交流する機会の獲得等、新たな時代に即した学びを可能とする施設の実現が必要です。



公民館「スマホ活用講座」の様子



さいたま市民大学の様子

#### (4) 人口減少・高齢化の進行と家族形態・地域社会の変化 ～スクール・コミュニティによる連携・協働の充実～

急速な人口減少と少子化、家族形態の多様化などにより、地域社会の構造が大きな変化を迎えようとしている中、地域が学校を育て、学校が地域を育てる、学校を核とした持続可能なスクール・コミュニティの構築が求められています。そのため、学校と地域が連携・協働して未来を担う子どもたちをはぐくむコミュニティ・スクールの一層の充実を図ることが重要です。また、子どもたちの他者との関わりを多様な活動を通じ充実させ、子どもたちが主役となる教育活動を実践していくことで、地域の一員としての当事者意識をはぐくんでいくことも必要です。



コミュニティ・スクールフォーラムの様子



チャレンジスクールで活動する  
子どもたちの様子

#### (5) 新時代の学びを支える教育環境の整備 ～「未来を拓くさいたま教育」推進のための基盤整備～

新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方を踏まえ、持続可能な学校の指導体制の構築と質の高い教育環境の整備や、地域社会と連携・協働し、共に創造する共創空間の実現等が求められています。

そのため、学校施設においては、学校規模の適正化や老朽化対策、施設の長寿命化等の環境整備を図ることで社会環境等の変化に対応することが重要です。また、教職員のライフサイクルの変化を踏まえつつ、多様な専門性を有する質の高い教職員集団を形成するためにも、人材確保や、働き方の見直し、地域人材を活用した部活動環境の構築など、持続可能な教育環境をつくることも必要です。



オンラインを活用した研修の実施



生涯の学びの拠点となる  
良好な教育環境の整備を実施  
(新設大和田地区小学校完成予定図)

## 2 基本方針・区分別主要事業

第2期さいたま市教育振興基本計画で掲げた「人生100年時代を豊かに生きる『未来を拓くさいたま教育』の推進」の基本理念のもと、子どもたち一人ひとりが自律していくことができる教育の推進と、生涯学習環境の整備に取り組んでいきます。

### (1) デジタル化による社会構造・経済状況の変化 ～12年間の学びの連続性を生かした「真の学力」の育成～

\*( )内は一般財源

(単位：千円)

No.	区分	事業名 〔事業所管課〕	令和6年度	令和5年度	説明	掲載 ページ
1	総振	アクティブ・ラーニングの 推進 〔教育課程指導課〕	280,192 (280,192)	287,446 (287,446)	学習内容を深く理解し、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を図り、「真の学力」を育成するとともに、研究委嘱により教育力を向上します。	Ⅱ-505 Ⅱ-506
2	総振	児童生徒用タブレットの管理と教育データ可視化システムの運用 〔教育研究所〕	1,512,140 (1,488,740)	1,532,372 (1,532,372)	児童生徒1人1台端末の効果を高めるため、適切な維持管理を行うとともに、個別最適な学びを実現するため、教育データ可視化システムの運用等を実施します。	Ⅱ-513
3	総振	自然体験活動の推進 〔館岩少年自然の家〕	269,472 (266,213)	1,253,039 (412,838)	児童生徒の「非認知能力」を向上させるため、自然体験活動を推進します。	Ⅱ-534 Ⅱ-535

### (2) グローバル化・多様化の進展とSDGsの推進 ～グローバル社会で活躍できる豊かな人間性と健やかな体の育成～

\*( )内は一般財源

(単位：千円)

No.	区分	事業名 〔事業所管課〕	令和6年度	令和5年度	説明	掲載 ページ
4	総振	グローバル・スタディの推進 〔教育課程指導課〕	721,246 (600,927)	674,587 (564,296)	グローバル社会で主体的に行動し、たくましく豊かに生きる児童生徒を育成すべく、「グローバル・スタディ」を実施します。	Ⅱ-507
5	総振	未来(みら)くるワーク体験(中学生職業体験)の推進 〔教育課程指導課、生涯学習振興課〕	8,245 (8,245)	8,441 (8,441)	地域の事業所等での中学生職場体験を推進するとともに、企業へのビジネス提案を取り入れた探究学習プログラムである「さいたまエンジン」を実施します。	Ⅱ-505 Ⅱ-528
6	拡大 総振	小中学校での看護師による医療的ケアの実施 〔特別支援教育室〕	26,341 (17,561)	16,845 (11,230)	市立小・中学校に在籍する医療的ケア児の学校生活を支援するとともに、保護者の負担を軽減するため、看護師による医療的ケアを実施します。	Ⅱ-511
7	総振	ひまわり特別支援学校知的障害教育部門高等部の運営 〔特別支援教育室〕	3,427 (3,427)	3,145 (3,145)	知的障害児の特別支援学校等に係る教育環境の充実を図るため、ひまわり特別支援学校に設置した知的障害教育部門高等部を運営します。	Ⅱ-543

〔区分〕 新規：新規事業 拡大：拡大事業 総振：総合振興計画実施計画事業

\*( )内は一般財源

(単位：千円)

No.	区分	事業名 〔事業所管課〕	令和6年度	令和5年度	説明	掲載 ページ
8	総振	SDGsの実現を目指した教育の推進 〔教育課程指導課〕	380 (380)	500 (500)	SDGs教育について、児童生徒主体の取組を推進するため、研究や工夫した取組の普及啓発を行うとともに、SDGsの実現を目指し、「さいたまSDGsアワード」を開催します。	II-506
9	拡大 総振	スポーツを科学する生徒の育成 〔教育課程指導課、高校教育課〕	10,551 (10,551)	8,686 (8,686)	DXツールのアカウント数を増加し、全ての市立中・高等学校及び中等教育学校で「スポーツを科学する部活動」を、全ての市立小学校で「スポーツを科学する授業」を実施します。	II-505 II-512
10	拡大 総振	Growthの充実と「学びの多様化学校」の設置検討 〔総合教育相談室〕	24,005 (11,930)	38,874 (19,454)	不登校等児童生徒支援センターにおいて、学習支援等を補助する人材やメタバースを活用したオンライン学習を実施し、新たに「学びの多様化学校」の設置に向け検討を進めます。	II-511

### (3) 人生100年時代における学習の重要性 ～人生100年時代を輝き続ける力の育成～

\*( )内は一般財源

(単位：千円)

No.	区分	事業名 〔事業所管課〕	令和6年度	令和5年度	説明	掲載 ページ
11	総振	さいたま市民大学事業の推進 〔生涯学習総合センター〕	2,942 (1,107)	3,307 (1,432)	大学教授や各分野の専門家等が講師を務める他に、市内生涯学習施設や関係団体等と連携し、幅広い年齢層を対象に、教養、市民企画、パソコンコース等の講座を実施します。	II-530
12	総振	図書館を通じた生涯学習環境整備の推進 〔中央図書館管理課〕	167,377 (165,201)	167,355 (165,192)	市民が生涯にわたる学びを進めていける、質の高い生涯学習環境を実現します。	II-532
13	総振	子どもの学び・親子の育ちの支援の充実 〔生涯学習総合センター〕	8,270 (8,270)	8,158 (8,158)	子どもの地域への愛着等をはぐくむための体験講座や子育て中の親同士が交流し学び合うことで、親として成長することを目的とした親の学習事業を実施します。	II-530
14	総振	公民館施設リフレッシュの推進 〔生涯学習総合センター〕	1,003,732 (21,172)	1,146,125 (27,556)	公民館施設リフレッシュ計画に基づき、老朽化対策を進めるとともに、バリアフリー化や省エネルギー化を図る施設改修を実施します。併せて、太陽光発電設備等を導入します。	II-531
15	総振	公民館エレベーター設置事業 〔生涯学習総合センター〕	32,120 (1,720)	37,662 (37,662)	公民館のバリアフリー化を推進するため、エレベーター等の設置に向けた工事等を実施します。	II-531

〔区分〕 新規：新規事業 拡大：拡大事業 総振：総合振興計画実施計画事業

(4) 人口減少・高齢化の進行と家族形態・地域社会の変化  
 ～スクール・コミュニティによる連携・協働の充実～

\* ( )内は一般財源

(単位：千円)

No.	区分	事業名 〔事業所管課〕	令和6年度	令和5年度	説明	掲載 ページ
16	総振	コミュニティ・スクールの 推進 〔生涯学習振興課〕	11,193 (11,193)	12,485 (12,485)	全ての市立学校においてコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を実施し、「地域とともにある学校づくり」及び「学校を核とした地域づくり」を推進します。	II-528
17	総振	チャレンジスクールの充実 〔生涯学習振興課〕	149,162 (106,110)	142,402 (100,472)	土曜日や放課後等に学校の教室等を活用し、地域住民、団体等の参画を得て、子どもたちの自主的な学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等を実施します。	II-528

(5) 新時代の学びを支える教育環境の整備  
 ～「未来を拓くさいたま教育」推進のための基盤整備～

\* ( )内は一般財源

(単位：千円)

No.	区分	事業名 〔事業所管課〕	令和6年度	令和5年度	説明	掲載 ページ
18	総振	教職員研修事業 〔教職員人事課、教育研究所〕	7,045 (7,045)	11,396 (11,396)	教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、学び続ける教職員を育成するため、実施方法の最適化と、外部リソースの活用による、多様で質の高い研修を実施します。	II-499 II-513
19		地域スポーツ・文化クラブ 活動体制整備事業の推進 〔教育課程指導課〕	43,186 (25,048)	52,128 (34,752)	市立中学校の休日の部活動について、段階的に学校から地域に移行すべく、モデル校において実証事業を実施します。	II-505
20	拡大 総振	学校施設リフレッシュ推進 事業 〔学校施設整備課、学校施設管理課〕	10,232,146 (327,709)	8,526,104 (790,584)	学校施設リフレッシュ基本計画に基づき、学校施設の計画的な改修・改築を実施校数を増やして実施します。	II-518 II-523
21	総振	学校トイレ洋式化推進事業 〔学校施設管理課〕	116,162 (18,162)	129,755 (13,055)	児童生徒の健康面や良好な学習環境維持のため、市立小・中学校の洋式トイレの整備を実施します。	II-518 II-523
22	拡大 総振	小中学校における水泳授業 の民間委託化の拡大 〔学校施設管理課〕	99,467 (99,467)	32,120 (32,120)	教育の質の向上とともに、持続可能で機能性・合理性を高めた教育環境の整備を実現するため、水泳授業の民間委託化を実施します。	II-516 II-521
23	拡大 総振	武蔵浦和駅周辺地区義務教育 学校整備の実施設計 〔学校施設整備課〕	341,188 (95,788)	338,153 (118,153)	学校規模による課題の解消とともに、教育の質の向上を図るため、武蔵浦和駅周辺地区に義務教育学校を整備するための実施設計を業務割合を増やして昨年度に引き続き実施します。	II-517
24	拡大 総振	新設大和田地区小学校整備 事業 〔学校施設整備課〕	3,984,904 (798,997)	117,373 (5,573)	大和田特定土地区画整理事業の進捗に合わせ、市民利用前提の学校体育施設（プール等）を備えた小学校、保育所等を一体的に整備するための工事を実施します。	II-517

〔区分〕 新規：新規事業 拡大：拡大事業 総振：総合振興計画実施計画事業

\* ( )内は一般財源

(単位：千円)

No.	区分	事業名 〔事業所管課〕	令和6年度	令和5年度	説明	掲載 ページ
25	総振	市立中学校の体育館への空調機整備 〔学校施設整備課〕	1,474,056 (4,186)	1,744,900 (16,130)	災害時の避難所機能の強化を図るとともに、良好な教育環境を確保するため、市立中学校の体育館への空調機の新規整備を実施します。	II-523
26	新規 総振	大学等進学「夢」支援 〔学事課〕	9,090 (4,545)	0 (0)	自身が持つ夢や志を叶えようという熱意があるものの、世帯収入が少なく学資の負担が困難な学生に対して、大学等の受験料補助及び入学一時金を支給します。	II-504
27	拡大 総振	小学校35人学級教室整備事業 〔学校施設管理課、教育財務課、教育課程指導課、おいしい給食サポート課〕	553,108 (553,108)	412,563 (412,563)	市立小学校の35人学級の実施等による学校の教室を確保するため、教室改修及び仮設校舎の設置を行うとともに必要な物品を購入します。	II-505 II-514 II-516 II-518 II-537
28	拡大	学校給食費の公会計化 〔おいしい給食サポート課〕	5,817,756 (139,226)	37,361 (37,361)	各学校で徴収管理されている学校給食費を本市の歳入歳出予算とする公会計化を実施し、学校給食費の徴収管理及び未納者の債権管理を行います。	II-537
29	拡大	学校の給食用食材の物価高に対する支援 〔おいしい給食サポート課〕	615,366 (615,366)	417,711 (417,711)	栄養バランスや量を保った給食の提供を確保するため、学校の給食用食材の物価高による価格改定分を公費負担します。	II-537

### 3 脱炭素化に資する主な取組一覧

(単位：kg-CO2)

課名等	事業名	取組の内容	二酸化炭素 削減量
教育委員会事務局	節電、節ガスの実施	各施設で節電、節ガスを実施することにより、温室効果ガスの削減に努めます。	1,355,595.0
教育政策室 学事課 教職員人事課 健康教育課 文化財保護課 中央図書館管理課	紙使用量削減の実施	図書館要覧、基本献立などの冊子、チラシの印刷部数を削減することにより、温室効果ガスの削減に努めます。	296.2
学校施設整備課	学校施設のリフレッシュ工事による省エネ化	学校施設のLED化、高断熱材を使用することにより、温室効果ガスの削減に努めます。	306,977.8
生涯学習総合センター	電気自動車導入	電気自動車を導入することにより、温室効果ガスの削減に努めます。	614.7
生涯学習総合センター	公民館施設リフレッシュ工事等による省エネ化	公民館施設リフレッシュ工事等を実施する際に省エネ、再エネに配慮した機器に更新することにより、温室効果ガスの削減に努めます。	59,193.8

〔区分〕 新規：新規事業 拡大：拡大事業 総振：総合振興計画実施計画事業

## 4 見直し事業一覧

(単位：千円)

事務事業名	主な事業	見直しの理由及び内容	見直し額
事務局運営事業（教職員給与課）	教職員の給与管理	教職員人事給与システムの業務内容及び普通旅費の積算方法を見直し、予算額を縮小する。	△ 1,672
就学事務事業	学齢簿編製及び学籍管理	過去の実績を踏まえて見直し、予算額を縮小する。	△ 87
入学準備金・奨学金貸付等事業	奨学金等の貸付け及び返済支援制度の実施	過去の実績を踏まえて見直し、予算額を縮小する。	△ 2,116
学校教育推進事業	理数教育の充実その他	実施方法を見直し、また、印刷物を一部デジタル化することにより、予算額を縮小する。	△ 1,924
英語教育充実推進事業（教育課程指導課）	効果測定、教員研修の実施及びテキスト作成等	実施方法及び過去の実績を踏まえて見直し、予算額を縮小する。	△ 8,934
特別支援教育推進事業	特別支援教育相談センターの運営	過去の実績を踏まえて見直し、予算額を縮小する。	△ 208
小学校教育扶助事業	システムの運用その他	過去の実績を踏まえて見直し、予算額を縮小する。	△ 1,446
中学校管理運営事業（教職員人事課）	非常勤講師の配置	過去の実績を踏まえて見直し、予算額を縮小する。	△ 1,476
家庭地域連携事業	家庭地域連携事業その他	啓発リーフレット廃止のため、印刷製本費の予算計上を廃止する。 実績を考慮し、使用料の予算額を縮小する。	△ 627
人権教育推進事業	社会人権教育推進事業	実績に基づき人権教育集会所の光熱水費及び通信運搬費を見直し、予算額を縮小する。	△ 1,365
青少年宇宙科学館管理運営事業	プラネタリウム投影事業	プラネタリウムの投影番組を見直し、予算額を縮小する。	△ 1,679
青少年宇宙科学館管理運営事業	普及事業	各種チラシ・ポスターの配布方法を見直し、予算額を縮小する。	△ 305
学校保健事業	学校環境衛生検査の実施	実績及びプールの民間委託に基づき、予算額を縮小する。	△ 1,838

※上記のほか、39件△23,569千円の見直し額あり。